

「外傷患者における病院前診察所見と予後の関連の検討」 の研究について

2016年4月1日～2020年3月31日の間に、外傷で当院に搬送された患者さまへ

研究機関 獨協医科大学病院 救急医学講座
研究責任者 小野 一之（教授）
研究分担者 内田 雅俊

このたび獨協医科大学病院 救急医学講座では、外傷で入院された患者さまの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さまへの新たな負担は一切ありません。また、患者さまのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、研究責任者または分担者までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

外傷は特に若年者において主要な死因の一つです。外傷診療において診察所見は重症度の判断に重要な役割を果たしていますが、診察所見と予後の関連についての研究は少なく、診察所見の予後予測能については明らかではありません。今回、栃木県ドクターヘリが要請された外傷事案のうち、当院に搬送された患者さまを対象として研究を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016年4月1日～2020年3月31日の間に栃木県ドクターヘリが要請され、外傷で獨協医科大学病院 救命センターへ搬送され治療を受けられた方を対象とし、500名の方にご参加いただく予定です。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 2022年3月31日

(登録期間：2016年4月1日 ～ 2020年3月31日)

3) 研究方法

対象患者さまについて、病院搬送前の診察所見と予後（院内死亡率、来院時検査所見、外傷重症度など）の関連を調査します。

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する情報

患者背景（年齢、性別）、受傷状況（受傷日時、受傷機転）病院前状況（vital sign、身体所見、FAST所見）、搬送後状況（vital sign、身体所見、血液検査所見、画像検査所見）、診断名、外傷重症度スコア（AIS、ISS、RTS、TRISS）行った処置（手術、IVR、輸血など）、転帰（退院時転帰）などを患者さまのカルテから収集します。

5) 試料・情報の保存

本研究で収集する情報には個人が特定される情報は含まず、匿名化を行った資料を用います。また収集した情報は獨協医科大学病院集中治療室内のパソコンで保管し、研究終了後、5年間の保存ののちに速やかにデータを削除、破棄します。

6) 研究計画書の開示

患者さま等からのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画の資料等を閲覧することができますのでお申し出ください。

7) 研究成果の取扱い

この研究の成果は、研究対象者となる患者さま等の個人情報がわからない形にした上で、学会や論文で発表することがあります。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、2020年3月31日までに下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さまに不利益が生じることはありません。

獨協医科大学病院 救急医学講座

研究担当医師 内田 雅俊

連絡先 0282-86-1111(代表) (平日：9時00分～17時00分)